

表.広島県の「第六次看護職員需給見通し」「第七次看護職員需給見通し」と、就業看護職員数

区分		第六次需給見通し					第七次需給見通し	
		2006(平18)	2007(平19)	2008(平20)	2009(平21)	2010(平22)	2011(平23)	2015(平27)
看護職員需給見通し	需要数(A)	34,918	35,482	35,955	36,440	36,998	41,949	44,378
	供給数(B)	34,844	34,699	34,642	34,650	34,985	40,563	43,786
	差引(A-B)	74	783	1,313	1,790	2,013	1,385	592
業務従事届	就業者数(C)	33,110		34,102		35,688	※10就業者数比	
	供給数との差(C-B)	▲ 1,734		▲ 540		703	+4,875??	
	需要数との差(C-A)	▲ 1,808		▲ 1,853		▲ 1,310		
	充足率(C/A)(B/A)	94.8%		94.8%		96.5%	96.7%	98.7%

- 2006(平18)年3月に策定した「第六次看護職員需給見通し」では、2010(平22)年の需要者数36,998人に対して供給数を34,985人と推計し、2,013人の供給不足を見込んでいた。
- 隔年で実施する「看護職員業務従事者届」による2010(平22)年12月末現在の就業者数は、同年の**需要数として見込んだ36,998人を1,310人下回って見通し期間を終えた**。前回調査の2008(平20)年12月末と比べ、当初見通しを703人上回る1,586人の**就業者増となった**。しかし、**需要数に対する就業者数の充足率は96.5%にとどまった**。
- 政府発表による2011(平23)年からの「第七次看護職員需給見通し」の広島県分では、**前年(2010・平22)就業者数とくらべ、「供給数」でも+4,875人(前年比13.7%増)という、かつてない「大幅増員」状態からスタート**することになっている。「業務従事届」直近4年間で2,578人しか増えていないのだが…。その理由は現時点で不明。

※尚、上記人数は、何れも「常勤換算数」である。

作成：広島県医労連(2011年7月12日)

【広島県第6次需給見通しにおける10年予測と、実際の10年看護職員就業者数との到達差】

作成：広島県医労連

(人)

区分	2010(平22)見通し	平20年保健・衛生行政業務報告結果に基づく就業数			見通し-到達差	2008(平20)就業数	就業者数 08-10変化			
		就業看護職員数	※1(内訳)	※2(換算補正)				※2常勤換算計		
需  要  数	①病院	22,320	23,743	68	61.9	22,745	425	21,761	985	
				393	383.0					
				17,809	17,197.5					
				5,473	5,103.0					
	②診療所	7,021	8,296	8,296	33	33.0	6,871	▲ 150	6,800	71
					129	102.9				
					3,088	2,479.2				
					5,046	4,255.8				
	i)有床診療所	2,471			0	0.0	27	▲ 32	29	▲ 2
		ii)無床診療所	4,550			25				
③助産所	59	29	29	1	1.0	27	▲ 32	29	▲ 2	
				3	1.4					
④介護保険関係	5,862	4,808	4,808	25	23.0	3,991	▲ 1,872	3,660	330	
				0	0.0					
				2,371	1,927.2					
				2,412	2,040.3					
i)介護療養型医療施設	1,955			3	2.5	1,059	56	972	87	
ii)介護老人保健施設	1,003	1,162	1,162	0	0.0					
iii)訪問看護ステーション	921	1,086	1,086	424	375.1	855	▲ 66	759	96	
				735	681.1					
				7	6.0					
				0	0.0					
iv)介護老人福祉施設	675	853	853	881	695.2	772	97			
v)居宅サービス	1,308	1,708	1,708	198	153.4					
⑤社会福祉施設(④除く)	252	344	344	1,708	1,305.6	300	48	285	15	
				4	4.0					
				0	0.0					
				152	134.9					
⑥保健所・市町村	747	861	861	700	667.9	760	13	763	▲ 3	
				5	3.3					
				135	81.0					
				21	7.8					
⑦教育機関	430	497	497	33	32.3	476	46	452	24	
				25	25.0					
				439	418.5					
				0	0.0					
⑧事業所・学校・その他	307	579	579	218	206.5	519	212	351	167	
				0	0.0					
				260	223.8					
				101	88.3					
⑨上記の計	36,998	39,157	39,157	35,687.6	35,688	▲ 1,310	34,102	1,586		
供 給 数	⑩年当初就業者数	34,652	保健師数 1,081 助産師数 577 看護師数 24,255 准看護師数 13,244	1,028.6	35,688	703				
⑪新卒就業者数	1,448	538.6								
⑫再就業者数	3,293	22,463.1								
⑬退職等による減少数	4,408	11,657.3								
⑭年末就業者数(⑩+⑪+⑫-⑬)	34,985									
⑮差引計(⑨-⑭)	2,013	10需要数と10就業数の差⇒		1,310	// 充足率		96.5%			

※1 上段より保健師・助産師・看護師・准看護師の内訳。

※2 同じく、「常勤換算」。常勤換算＝労働者の1週間当たり契約労働時間÷各施設の定める1週間当たり所定労働時間